

# BCPで世界への安定供給を約束 —大和合金株式会社—

## 企業概要・沿革

当社は、1941年（昭和16年）に特殊銅合金メーカーとして創業しました。創業当時は魚雷や戦車の重要部品の材料を開発・製造し、供給しました。終戦後に需要を失ったことから、休止期間を経て自動車や船舶向け材料を手掛けるために1953年（昭和28年）に同じ社名で再度設立されました。

その後、1963年（昭和38年）に工場を拡張する際、グループ企業として三芳合金工業(株)を埼玉に設立。長年にわたる技術蓄積に基づいた特殊銅合金はお客様から高い評価を得て、航空機産業へも用途を拡大しました。得意先は世界へ広がり2019年には欧州拠点としてポルトガル支店を開設しました。



当社 三芳工場



銅合金製造の最初の工程：溶解/鋳造

## 開発・試作・製造までの一貫生産体制！

### 鋳造・塑性加工・熱処理・加工の一貫製造！

当社は、顧客の要望する特性にかなう銅合金材料の配合組成の検討及び実験から開始できる珍しい会社です。そして、開発に続く製造においては、その金属材料を鋳造、熱間鍛造あるいは押出、熱処理、材料の非破壊検査、機械加工まで一貫して自社内で対応できるのも強みの一つです。さらに、工場には大小の製造設備が多種多様にあるため、ご注文量に応じて少量対応可能という柔軟性があることも大きな特徴です。



社員への周知・啓蒙のために  
社員食堂で開催したBCPセミナー



リスクサーベイの調査報告書と  
自然災害ハザードカルテ

## BCP策定に取り組んだ理由

当社は、2008年頃から積極的に海外市場の開拓を進めてきました。途中、様々なハードルがたちはだかりましたが、海外人財の採用も増やし、世界各地へお得意先を少しずつ広げることができました。一方で製造責任は従来にも増して重く大きくなり、安定した製造・着実な成長・危機に強い会社経営を求める声が聞こえ始めました。そのような中、板橋区がBCP簡易モデルの企業への導入を勧めていることを知り、しかも訪問支援を実施するとのことで、この絶好の機会を利用してBCP策定を決意しました。



大和合金株式会社  
代表取締役 萩野源次郎

## 策定にあたり特に注力した点

簡易版とはいえ、策定するからには災害時に復旧すべき当社の中核事業が何であるかをじっくり再検討することにしました。このことは当社の存在価値を改めて考え直す良い機会にもなったと感じております。

当社独自の特許材料を継続して製造し続けるために、緊急時の応援を想定した代替生産先や退職者リストの作成にも力を注ぎました。

古い設備や小さな機械などについてもそれぞれに修理会社を記載することには苦労がりましたが、これも災害時には役立つものと確信しております。

策定の必要性を社員に実感してもらうために、2016年の熊本地震の影響を直に見て勉強することを目的とした社員研修旅行を企画し2017年に実行しました。

## BCP策定の感想・効果

BCPを策定し一定の安心感が醸成されたものの、それを広く全社員へ周知・啓蒙するために社内セミナーを開催しました。

定期的な更新や見直しを行うために、「BCP更新・見直し手順」という社内ルールを制定し、項目に応じて頻度高く差し替えることで鮮度の維持に努めております。

災害用備蓄品についても全社員に配布し、社内一か所で保管するのではなく、それぞれが身近に保管するようになりました。

第三者による自然災害発生リスクや社内のあらゆるリスクを調査してもらい、それらに的確に対応することで更なる事業継続と安定成長を図っております。

サイバーテロから身を守るための教育訓練や定期的なテストも行っております。また、非常時の安否確認のためのソフトやスマートフォン用のアプリケーションを導入し、社員の安否をすぐに確認し、素早く対応できるようになりました。

こうした活動を多くの企業が行うことで、災害に強い板橋、苦境に強い日本が実現することを期待しております。



3部作成し当社内のほか、グループ企業の三芳合金工業(株)と萩野の自宅にも保管

### 事業者情報

事業者名	大和合金株式会社
本社所在地	板橋区前野町2-46-2
設立	昭和28年4月(創業 昭和16年)
資本金	4500万円
従業員数	45名
代表者	萩野 源次郎
Tel	049-273-6006 (三芳工場)
URL	<a href="http://www.yamatogokin.co.jp/">http://www.yamatogokin.co.jp/</a>